

メールアドレス [kugikai@city.chiyoda.lg.jp](mailto:kugikai@city.chiyoda.lg.jp)

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

がありました。委員からは西口再開発の進捗状況やホームの安全対策等について質問がありました。

「御茶ノ水駅及び駅周辺のまちづくり」では、御茶ノ水駅のバリアフリー整備が平成30年度中に完成すること、旧神田保育園仮園舎は東京都から使用の申し出があること及び本区の清掃事務所がリサイクル事業において暫定活用する予定である等の報告がありました。委員からは、神田保育園仮園舎の貸し出し条件等について質問がありました。

「神田駅及び駅周辺のまちづくり」では、鍛冶町一・二丁目他、地区計画が制定されていない地区についての今後の予定や神田駅周辺整備懇話会及び内神田三丁目地区の意見交換会等の報告がありました。委員からは高架下の耐震工事等について質問がありました。

その他、委員会終了後には、本年7月開業の「JR神田万世橋ビル」及び9月に開業した「マーチエキュート神田万世橋」の行政調査を実施しました。

### 商工観光施策特別委員会

執行機関から、区内の河川利用の現状と水辺空間活用の方角性について、報告がありました。報告の中で、国土交通省が、平成23年4月1日から、河川敷地占用の許可の基準となる河川占用許可準則の改定を行ったことにより、河川の敷地に、地域活性化等のための民間施設の設置が可能となったことが報告されました。

委員からは、水辺に親しんでもらうための護岸のペインティング等は、この規制緩和の範囲に入るのかどうか、また、区として、こうした事業について補助金支給の対象となるかどうかといった質疑があり、執行機関からは、規制緩和の対象となるかどうかは現段階では即答できないものの、東京都は、隅田川の周辺区と連携して、川の賑わい創出のため「隅田川ルネサンス」といった事業の中で、さまざまな取り組みを行っていることから、東京都と相談しながら予算確保の可能性もあるとの説明がありました。また、委員から水

辺に親しむためには、まず川の水がきれいになければならず、国や都、区が協力して水質浄化を推進すべきであり、7年後に東京オリンピックが開催されることを大きなチャンスとして、ぜひ、推進してほしいとの意見が出されました。

その他、委員会終了後には、本年7月開業の「JR神田万世橋ビル」及び9月に開業した「マーチエキュート神田万世橋」の行政調査を実施しました。



### 決算特別委員会

「平成24年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、生活福祉、環境文教の3つの分科会を設置し、詳細に調査を行いました。

主な質疑項目は次のとおりです。

- ◆ 職員の人材育成
- ◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの対応
- ◆ 生活保護費削減とその周知方法
- ◆ 自転車道の整備
- ◆ 屋上緑化
- ◆ アスベスト対策と震災時の対応
- ◆ SPCと区の関係
- ◆ 借り上げ型区民住宅
- ◆ 就学前プログラム
- ◆ 白ガス管の取替補助
- ◆ 節電中の街路灯
- ◆ 麹町保育園の整備事業

◆安全で快適な千代田区の生活環境の整備に  
関する条例

### 【反対の意見】

第一に、後期高齢者医療保険料、国保料等、負担増を求める決算となったことである。特に、国保料の未納問題は、督促を強めて解決できるものではない。第二に、都心のまちづくりのあり方である。超高層建築物を建設し就業人口の増大を招く都市再生は、帰宅困難者対策をより困難にする。第三に、職員削減をすすめる決算となったことである。職場環境を改善するための、職員の配置換えや非常勤職員、臨時職員、派遣職員での対応等、これまでのやり方では限界である。以上3点から、決算認定に反対する。(飯島)

### 【賛成の意見】

選択と集中の視点に立った数多くの事業が実施され、区民福祉の向上に寄与した決算内容である。耐震診断、建物改修の課題に対しては、耐震改修促進計画の中で構造的に取り組むことが明らかになった。職員の人材育成では、集合研修と事業部内でのOJTとの有機的な活用の必要性が再認識された。全庁的な業務量、官民の役割分担、それに見合った職員数の検討では、今後職員定数を増やすことが明らかになった。今後も財政基盤確立のもと、医療、福祉・教育の更なる充実を図る優しさのある区政を要望する。(はやお)

平成24年度は、生活の安全を確保し、安心して暮らせる千代田区を実現する目標を掲げ、具体的な取り組みが行われた。区民サービスの低下や不適切な執行は見当たらなかったが、人口増にも関わらず区民税の歳入が減少していること、地方自治体の税財源をめぐるとの議論がなされていることから、今後、より一層効率的かつ安定的な財政運営を行う必要がある。区有財産の維持管理に要する経費を含めた財政需要を分かりやすく、議会、区民に示しながら区政運営にあたるよう努力することを願う。決算認定に賛成する。(永田)

摘事項に対してこれを改善する取り組みを行ってきたことが認められ、その一部は所管の常任委員会で引き続き調査を行っていくこととなった。また、7年後のオリンピックに  
対し、組織横断的、全庁的に取り組んでいく必要性が明らかになった。新年度予算編成にあたっては、委員会からの提案を積極的に生かし、区民にとって明るい展望の見える区政運営を行うことを執行機関に求め、決算認定に賛成する。(高山)

執行率の低い事業は精査し、次年度の予算に反映させてほしい。歳入19科目中、過半数の11科目が減となったことは将来の不安材料であるが、経常収支比率、公債費比率、人件費比率は、概ね健全である。今後、人事面では職員の育成とミスを防止するシステム構築を、福祉分野では(仮称)高齢者総合サポートセンターの進捗状況の報告、地域ケアの充実、医療と介護の連携等を、防災面では実態に即した地域防災計画策定を求めるとともに、事業を総点検し基本計画改定に盛り込むことを求め、決算認定に賛成する。(寺沢)

3・11の大震災後、初の予算執行年度であり、防災対策の抜本的見直しに着手している。その際、女性の視点を取り入れたことは評価できる。生活保護者への就労支援の中では、生活保護受給に至る前での就労支援も重要であるとし、来年度から予算措置したいと

### 平成24年度千代田区各会計歳入歳出決算額

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差額
一般会計	47,093,763,995	45,462,429,478	1,631,271,517
国民健康保険事業会計	4,855,651,612	4,504,349,133	351,302,479
介護保険特別会計	3,582,882,585	3,451,122,224	131,760,361
後期高齢者医療特別会計	1,473,168,153	1,397,174,908	75,993,245
合	57,005,466,345	54,815,138,743	2,190,327,602